

令和元年度

教育委員会定例会
(8月)

令和元年8月6日(火)

鹿屋市教育委員会

会議日程

日時 令和元年8月6日(火) 午後3時30分

場所 教育長室

1 開会

2 前回議事録の承認

3 教育長及び委員の報告

4 議事

議案第20号 令和元年度鹿屋市一般会計補正予算(第2号)に係る意見の申し出について
(P2)

議案第21号 鹿屋市生涯学習審議会委員の委嘱について
(P6)

5 報告

(1) 高須小学校の今後のあり方に関する高須町内会臨時総会の結果概要について

(別紙)

(2) 「かのやっ子わくわくアドベンチャーin屋久島」の実施について

(P9)

6 動議の討論等

7 その他

8 閉会

議案第20号

令和元年度鹿屋市一般会計補正予算（第2号）に係る意見の申し出について
鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年鹿屋市教育委員会規則第2号）第10条の規定
に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和元年8月6日提出

鹿屋市教育委員会
教育長 中野 健作

(別 紙)

(提案理由)

令和元年度鹿屋市一般会計補正予算（第2号）のうち教育委員会の所管に係る分について、市長に
意見を申し出ようとするものである。

○ 鹿屋女子高等学校施設整備事業（鹿屋女子高多目的ホール棟建設）に係る
「かごしま材利用推進事業補助金」（県補助金）の内示額等について

1 かごしま材利用推進事業補助金（事業区分：木材公共施設整備事業）について

(1) 趣旨

県は、県産材の利用を推進する事業を実施するため、かごしま材利用推進事業を実施する市町村等に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

(2) 補助率等

定額（1／2以内）

※ただし、特にモデル性が高いものの以外は定額（15%以内）

(3) 内示額

区 分	補助対象 事業費	交付金額	交付率
要 望 額	177,166 千円	88,583 千円	50%
内示予定額	177,166 千円	77,000 千円	43%

2 鹿屋女子高多目的ホール棟の概要

(1) 目 的

令和2年春の供用開始に向けて鹿屋女子高の新校舎棟を新築することに併せ、サブ体育館、武道場、集会室、同窓会室、生徒作品展示ギャラリー等の様々な機能を備えた多目的ホール棟を学校敷地北側に建設する。

(2) 施設の概要等

○構 造：地上1階 木造 一部鉄骨造

構造耐力上主要な部分である壁（耐力壁）をCLT工法とする。

○延床面積：672 m²（補助対象面積：626 m²）

○総事業費：235,468 千円

○工 期：令和元年10月～令和2年3月（予定）

○ 高須小学校閉校記念事業実行委員会負担金について

1 負担金額 800 千円

2 根拠例規

鹿屋市立小・中学校閉校記念事業負担金支出要領（平成 24 年 4 月 25 日制定）

3 負担対象経費及び負担額

①負担対象経費

記念事業の開催に要する経費（食糧費は除く。）、記念誌の発行に要する経費

記念碑の建立に要する経費、実行委員会の運営に要する経費（食糧費は除く。）

上記のほか、記念事業に要する経費であって市長が負担金の対象経費として適当と認めた経費

②負担額

負担額は、負担対象経費の額以内で予算で定める額以内とする。

○令和元年9月補正予算の概要（事業名：部活動指導員派遣推進事業）

1 目的

鹿児島県の部活動の在り方に関する方針に基づく活動を具現化するため、モデル的に部活動指導員を指定校の学校に派遣し、部活動の充実と適性化を促進するとともに、その成果と課題を検証する。

指導する部活動に係る専門的な知識・技能を有する指導員の配置を促進することにより、次の3つの事項を実践する。

- 教員の部活動指導に係る時間を軽減し、自らの授業を磨く教材研究や生徒との面談等の時間を確保することで、子どもたちへの効果的な教育活動及び教員の働き改革につなげる。
- 経験のない競技などの指導による心理的負担を軽減する。
- 教員の活動に対する正しい理解に基づく、指導技術の向上や生徒の能力に応じた適切な練習方法の導入、怪我の未然防止など部活動の質的な向上を図る。

2 事業内容

(1) 部活動指導員の派遣

- ア 派遣期間は令和元年度10月～2月、令和2・3年度（予定）4月～3月
- イ 派遣人数は各年度1人
- ウ 部活動の顧問として技術的な指導を行うとともに、担当教諭等と日常的に指導内容や生徒の様子、事故が発生した場合の対応等について情報交換を行う。
- エ 平日4日2時間、休日1日3時間の部活動指導
- オ 大会等への引率

(2) 職務

- ア 指導に関するもの
実技指導、安全・障害予防に関する知識・技能の指導 等
- イ 計画立案に関するもの
学校外での活動の引率、用具・施設の点検・管理、部活動の管理運営、保護者等への連絡、年間・月間指導計画の作成 等
- ウ 各種対応に関するもの
生徒指導に係る対応、事故が発生した場合の現場対応 等

3 補正予算要求概要

【歳入】

- ・02 県補助金 07 教育費補助金 03 教育総務費補助金 01 教育支援体制整備事業補助金
補正予算要求額：292千円（当初予算0円、補正後292千円）
（補助対象経費の国1/3、県1/3）

【歳出】

- ・10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 事業名：教育支援体制整備事業
補正予算要求額：502千円（当初予算0円、補正後504千円）

費目		事業費	補正 要求額	補正後	備考
報酬	非常勤職員	452	452	452	・校内部活動指導報酬 平日 1,600円×2時間×4日×22週 土日 1,600円×3時間×1日×22週 ・各種大会引率謝金 1,600円×8時間×5回
共済費	労働保険料	2	0	2	・部活動指導員労災保険料 2千円 ※労働保険料については教育総務課予算 で対応
旅費	費用弁償	50	50	50	部活動指導員 校内指導 3,000円×1人×5月 各種大会 6,991円×1人×5回
計		504	502	504	

議案第21号

鹿屋市生涯学習審議会委員の委嘱について

鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年鹿屋市教育委員会規則第2号）第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和元年8月6日提出

鹿屋市教育委員会
教育長 中野 健作

(別 紙)

(提案理由)

鹿屋市生涯学習の振興及び推進体制等の整備に関する条例第3条第2項及び第5条に基づく委員を新たに委嘱したいため、本案を提出する。

鹿屋市生涯学習審議会委員名簿（案）

	氏名	年齢	所属等名	任期	備考
1	金子 満		鹿児島大学准教授	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
2	和田 智仁		鹿屋体育大学准教授・スポーツ情報センター長	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
3	大塚 千穂弥		P T A 連絡協議会副会長（大始良中）	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
4	小園 幸作		鹿屋中校区生涯学習推進協議会 青少年部会長 （鹿屋中学校PTA会長）	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
5	橋口 昭夫		市校長協会会長（中学校代表・鹿屋中学校長）	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
6	伊地 知裕		市校長協会副会長（小学校代表・寿北小学校長）	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
7	酒井 マリ		カピックセンター 研修課長	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
8	山下 達也		大隅青少年自然の家 所長	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
9	堀之内 節子		女性農業経営士 （一社）鹿屋市観光協会グリーンツーリズム事業推進部部長	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
10	有園 淳子		株式会社おおすみ観光未来会議 代表取締役	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
11	有馬 広崇		障がい者支援施設NPO法人Lanka	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
12	片岡 珠代		鹿屋東地区学習センター 同好会講師（ヨガ）	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
13	宮内 美歩		かのやオーケストラ幹事長、ハナマルシェ実行委員	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	
14	浦口 亜矢		鹿屋市青年団協議会会長 市社会教育委員	令和元年8月28日 ～ 令和2年3月31日	

5 報告 (1) 高須小学校の今後のあり方に関する高須町内会臨時総会の結果概要について

※高須小学校の今後のあり方に関する高須町内会臨時総会の結果概要を説明

5 報告 (2)「かのやっ子わくわくアドベンチャーin屋久島」の実施について

1 趣 旨

鹿屋市内の小学生が、2泊3日の宿泊研修をとおして交流を深めるとともに、屋久島の広大な自然の中で、様々な活動に挑戦し自己を磨き豊かで強い心を養う。

2 主 催 「かのやっ子わくわくアドベンチャー」実行委員会

3 共 催 鹿屋市子ども会育成連絡協議会

4 後 援 鹿屋市教育委員会

5 期 日 令和元年7月21日(日)～令和元年7月23日(火) 2泊3日
※台風の影響により3泊4日の予定を2泊3日に変更して実施

6 研修場所 屋久島町【屋久島環境文化村センター、白谷雲水峡等】

7 参加者等

	参加者			ボランティア				引率者			合計
	小5	小6	計	中学生	高校生	青年団	計	ALT	市子連	市教委	
男	7	9	16	3	1	2	6	0	1	2	25
女	9	7	16	1	2	0	3	1	3	1	24
計	16	16	32	4	3	2	9	1	4	3	49

8 活動内容

- (1) 7月21日(日)
屋久島環境文化村センター見学、キャンプ
- (2) 7月22日(月)
白谷雲水峡トレッキング
- (3) 7月23日(火)
千尋の滝見学

9 子どもたちの主な感想

- ・責任を持つことと友達の大切さ、お母さんがいつも頑張っていることがわかった。
- ・キャンプでの調理でお母さんが料理を作る大変さがわかった。
- ・お父さんやお母さん、弟たちと離れるのが寂しかったが、友達と協力して頑張ることができた。
- ・お父さんとお母さんが大変であることがわかったので、帰ってから手伝いを頑張りたいと思った。
- ・友達と協力することはとても大切なことなんだと思った。
- ・時間の厳しさや、集団行動などこれから人の上についでいく上で大切なことを学ぶことができた。
- ・初めて会う人とでも優しく声をかけて仲良くなることができた。
- ・研修の中で、家族や親の大切さを学ぶことができた。(鹿屋っ子)
- ・お母さんみたいに子どもたちをまとめるのが大変だった(鹿屋っ子)



出発式



白谷雲水峡トレッキング(子ども38人、大人8人登頂)

